

医薬品ケーススタディ: Pfizer 社

## 期待を上回る成果

Agilent  
**CrossLab**  
From Insight to Outcome

### Pfizer 社のラボの効率が劇的に向上

オーストラリア パースにある Pfizer 社の生産施設では、常時数十台のハイスループットな分析機器が稼働しています。同社が利用していた現地サービス請負業者のサポートが不十分なものであったため、品質管理、および腫瘍学ラボの機器のダウンタイム率は 50 % と高く、最適な運用とは言い難いものでした。

アジレントは、データインテリジェンスと専門家によるガイダンスを組み合わせることでラボの運用を大幅に改善し、ほぼ 100 % の稼働時間を達成しました。

主要性能指標を包括的に評価することで機器の冗長性を把握し、ラボ機器の 3 分の 1 を削減することができました。これにより、古いシステムを新しいシステムへの入れ替えが行われました。

ラボの運用効率の最大化は変革を伴うものであり、長期的な視点と知識豊富な専門家からのガイダンスが不可欠となります。

**Pfizer 社がアジレントをパートナーに選んだ主な理由は、その確固たる責任感、透明性、努力を惜しまない姿勢を信頼したためです。**アジレントはその迅速な対応と顧客重視の姿勢により、Pfizer ファミリーの一員として緊密な協力関係を築くことができました。



「他社と比べて、アジレントはサービスプロバイダーというよりもパートナーのように感じられます。アジレントは私たちとともに仕事をしていますが、それは利益を上げるためだけではありません。私たちがビジネスパートナーであること、つまり、相手が成功するかどうかは自社の働きにかかっていることを理解しています。」

#### Craig R. Hayward 氏

品質管理担当マネージャー  
Pfizer 社  
オーストラリア、パース

## 信頼性と透明性

アジレントは初期の段階から、準専任 CrossLab サービスチームを派遣しました。アジレントのチームリーダーは、Pfizer 社の常時稼働施設においてあらゆる業務に対応し、すべてのサービスを調整します。常に Pfizer 社の業務を専任で担当する人員です。

このチームリーダーは常時稼働できる体制にあり、発生しうるあらゆる状況に迅速に対応し、最大限の対処が可能です。

アジレントが担当する前の Pfizer 社は、当時のサービス請負業者が提供するサービスの指標、対応、タイミングに不満を持っていました。アジレントは即日対応、明確性、継続的なコミュニケーションにより、ラボの効率性向上を実現しました。

アジレントのエンジニアは機器を選別し、サービスを提供し、最新情報を報告し、必要なあらゆる作業について説明しました。CrossLab サービスチームの取り組みにより、以前は平均 50 % であったラボの稼働時間がほぼ 100 % になりました。

これを達成するため、5 名のエンジニアが現場に常駐し、資産を調整し管理しました。アジレントは機器類の運用効率を最大化するため、設置されている機器全体を評価しました。具体的には機器の現状を特定し、保証終了契約を調査し、各機器のリスクスコアを作成しました。アジレントの技術エキスパートは徹底的なハードウェア評価により、メンテナンス、修理、廃棄に関するガイダンスを提供しました。

各機器のあらゆる特性をわかりやすく示すことで、Pfizer 社の管理チームから評価品質に関する高い信頼を得ることができました。

## 利用状況データと性能指標

CrossLab サービスチームは、Pfizer 社のビジネススタイルを認識し、時間をかけてその方法や手法を完全に理解しました。その結果、チームとラボの緊密な連携が可能となりました。両社相互の成功には、2 つの主要要素が重要な役割を果たします。

- 機器類の評価にデータインテリジェンスツールを活用し、データに基づく確かな理由を示すことで、結論が導きやすくなります。

ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE.6118634259

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2021

Printed in Japan, December 13, 2021

5994-2278JAJP

- 専門家のガイダンスにより、技術的側面だけでなく、その背後にある特性や整合性についても納得して実施することが可能になります。

Pfizer 社の分析担当者は 1 日中さまざまな機器を使用しており、修理依頼を記録してアジレントのチームにすぐに連絡できる方法を必要としました。Agilent CrossLab Connect アセットモニタリングによって、このような直接連絡を可能としました。

ネットワーク接続された機器を利用することで、Pfizer 社は新たに利用状況データ（各週の日単位の各機器の使用時間など）の把握が可能となりました。これにより、4 台の機器が重点的に使用されており、その他の機器の利用率が低いことが判明しました。**Pfizer 社の品質管理担当マネージャーである Craig R. Hayward 氏は次のように述べています。「アジレントのおかげで、ラボで起こっている状況を明確に把握できるようになりました。例えば機器 1 台の 1 回の分析あたりのコストなどもです。」**

Pfizer 社は利用状況データを活用することで、機器をバランスよく利用し、ラボのすべての機器の空き状況を最適化できるようになりました。

## コンプライアンスの順守と機器の適格性評価

機器類のバランス調整とともに、コンプライアンス順守に関する作業を実施しました。アジレントは規制に関するリスクを最小限に抑えるため、Automated Compliance Engine (ACE) を使用して Pfizer 社の使用モデルと測定に合わせた専用コンプライアンスプログラムと機器適格性評価を設定し、適格性評価プロトコルをユーザー要件に合わせて調整を行い、一貫性のあるペーパーレス作業を実現しました。これにより、Pfizer 社のコンプライアンスプロトコルの承認率は常に 100 % です。

Pfizer 社とのコンプライアンスプロトコル確立とは別に機器の適格性評価には、キャリブレーションのためのデジタル温度計やフローメータが必要でした。適格性評価サービスをできるだけタイムリーかつ柔軟に提供するため、CrossLab サービスチームは適格性評価キットを現場に用意し、迅速に検出できる体制を整えました。

## 専門家による支援とその成果

アジレントは専門家によるサービス、円滑なコミュニケーション、長期的な信頼の構築によって Pfizer 社の期待を上回る成果を上げ、ラボの効率の大幅な向上に貢献しました。